

News Letter

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

Vol. 18 2025年
3月発行

ご報告

令和6年度山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞表彰式および女性研究者と中村学長との懇談会を開催しました **山梨大学限定**

日時 | 令和6年12月9日(月) 13:00~15:30

会場 | 大村智記念学術館大村記念ホール

本賞は、優れた研究成果を挙げた本学の女性研究者を顕彰することにより、研究者の研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画を促進する目的で、平成28年に創設されました。

第9回目となる今回は、中村和彦学長より受賞者へ「お二人には、女性研究者のロールモデルとして、いっそう学術研究に邁進していただき、本学から地域、そして世界へと、その研究成果を発信され、なお一層の成果を挙げられることを大いに期待しております」との激励の言葉とともに、表彰状と花束が授与されました。

表彰式後には受賞者2名に加え、本学で活躍する女性研究者7名が参加し、女性研究者を取り巻く研究環境や女性研究者の活躍等をテーマに、中村学長を交えた懇談会を開催しました。懇談会では、男女共同参画推進について大学が取り組んでいることへの意見や、育児・介護の学内制度への要望が多数出されました。また、学長から国立大学協会での取り組みや現状についての説明がありました。和やかな雰囲気の中、活発な意見交換の場となりました。



優秀賞

工学域
電気電子情報工学系
教授 福本 文代



テーマ
「コンピュータの言語理解による豊かな未来社会の形成」

奨励賞

医学域
臨床医学系
助教 原井 望



テーマ
「糖尿病の早期発見を目指した歯科医院での血糖値測定研究」



ご報告

令和6年度男女共同参画講演会を開催しました

日時 | 令和6年12月18日(水) 14:00~15:30

会場 | 大村智記念学術館大村記念ホール (Teams同時配信)

講師 | 坂井 英子 氏 (エクシオグループ株式会社 甲信支店 支店長)

タイトル | 「ダイバーシティ推進の必要性～誰もがいきいきと働くために～」

参加者 | 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、シミックグループおよび株式会社はくばくの社員 84名



講演では、企業における女性活躍状況が投資判断材料になっている現状から、経営戦略として女性活躍を推進する重要性について述べ、女性のみならず、多様な人材の育成のために必要な考え方についてご説明いただきました。

感想 | 「3つのK(期待して、機会を与えて、鍛える)」を頭におきながら仕事をしていきたいとします。
・なぜ経営戦略が必要なのかが理解できました。
皆が理解することが大事である事、私も部下が産休明けで戻るの、よく対話をしていきます。

ご報告 | 令和6年度若手研究者育成セミナーを開催しました

日時 | 令和7年1月21日 (火) 13:30~15:00

開催方法 | オンライン (Teams)

講師 | 高橋 俊哉 氏 (大正製薬株式会社 医薬事業部門情報検索室 主事)

タイトル | 「リアルワールドデータの種類と活用の実際」

参加者 | 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、
シミックグループおよび株式会社はくばくの社員 95名

セミナーでは、リアルワールドデータの種類とその活用法について、具体例を提示してご教授いただきました。

- 感想** | ・実例を挙げてくださりながら、非常にわかりやすい研修でした。リアルワールドデータ領域の研修は少ないので大変ありがたかったです。
- ・実務ではデータを取得する立場ではありますが、データをどのように活用するかを理解していませんでした。データはあるだけでは無意味で、どのように活用するかが重要であることを学びました。



ご報告 | 令和6年度第2回スキルアップセミナーを開催しました

日時 | 令和7年1月24日 (金) 10:40~12:10

開催方法 | オンライン (Teams)

講師 | 柳瀬 陽介 氏 (京都大学 国際高等教育院附属国際学術言語教育センター 教授)

タイトル | 「AIを活用して英語論文を作成する日本語話者にとっての課題とその対策」

共催 | 山梨大学大学教育・DX推進センター、国際化推進センター、
大学院支援室、シミックホールディングス株式会社、株式会社はくばく

参加者 | 山梨大学および山梨県立大学の教職員・学生、
シミックグループおよび株式会社はくばくの社員 123名

講義では、英語論文を作成する際に日本語話者が気を付けなければならない点について、事例を用いてご教授いただきましたとともに、最新の生成AIについてもご紹介いただきました。

本セミナーは、本学の令和6年度第1回DXセミナーとして共催で開催しました。

- 感想** | ・タイムリーな情報が多く参考になりました。英作文スキル向上にAIを使いこなす意義を理解できました。
- ・文章構成のお話や、生成AIの紹介など、事務職員としても参考になることがあり、大変有益でした。



ご報告 | ロールモデル集『ナシダイResearchers vol.12』発行

山梨大学の研究者を紹介するロールモデル集です。

今回は5名の先生方、4名の大学院生にご協力いただき、「研究内容」や「研究者になったきっかけ」、「おすすめの一冊」、「ワークライフバランス」等について紹介しています。

冊子は山梨県内すべての中学校、高校、図書館、教育施設および県外の高校、高等専門学校等に配布しました。



ご報告 | 令和6年度研究者支援制度 **山梨大学限定**

研究者支援制度	利用人数
キャリアアシスタント(CA)制度	研究者34名、キャリアアシスタント(学生)49名 ※前期・後期合計の延べ人数
産休・育休からの復帰支援制度	2名
論文投稿費と英文校閲費支援制度(女性研究者のみ)	5名

※令和7年度各種支援制度は、令和7年4月より公募開始予定です。

国立大学法人山梨大学 男女共同参画推進室

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL: 055-220-8350 FAX: 055-220-8351 E-mail: danjo@yamanashi.ac.jp
HP: <https://danjo.yamanashi.ac.jp/diver/>

